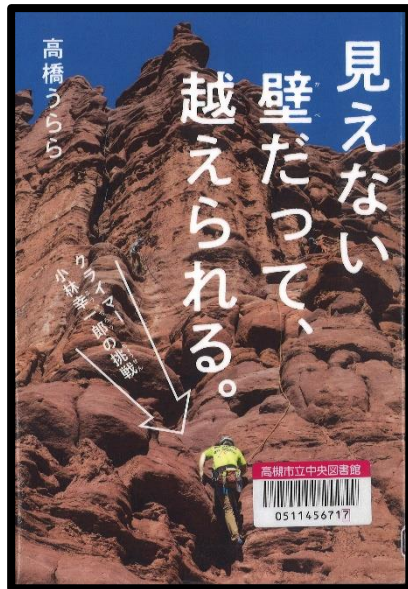


見えない壁だって、超えられる。

クライマー小林幸一郎の挑戦



高橋 うら/文

金の星社〔786コ〕

小林さんは、28歳の時に発覚した目の病気で視力を失いながらも、パラクライミング競技者として、トップにのぼりつめました。

障がいのある人たちに、クライミングを広める活動を行うNPO法人「モンキーマジック」の代表も務めています。

視力を失うという経験を乗り越えて、挑戦する小林さんの半生から誰もが持つ可能性と、挑戦する喜びを知ることができる本です。

グレーテルの白い小鳥 ビブリオ・ファンタジア



斉藤 洋/作

森泉 岳土/絵

偕成社〔913サイ〕

知識と物語が集まっている図書館で児童読書相談担当の私は相談をうけながらも、その人たちから不思議な体験物語を聞くことになります。

「病院で足音がしても誰の姿もなくそこに文鳥が突然現れる」「お通夜の帰りは自宅ではなく、通夜でおわかれをした故人との思い出の場所にたどり着いてしまう」など看護師や市会議員の体験話です。

本の相談からひろがる少し不思議でゾクとする5つの短いお話です。その他にビブリオ・ファンタジアシリーズとして、「アリスのうさぎ」「シンデレラのねずみ」があります。

チェスターとガス



ケイミー・マガヴァン/作

にしもと かおる/訳 まめふく/装画

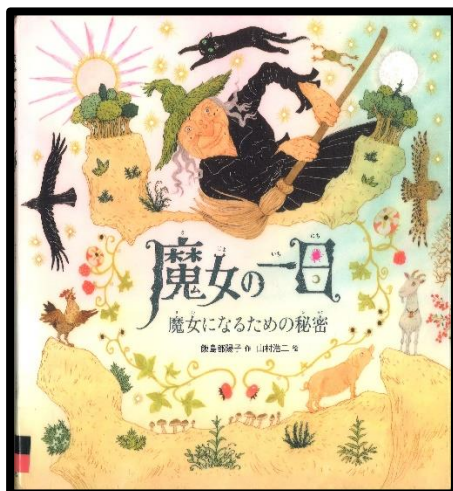
小峰書店〔933マガ〕

補助犬^{ほじょけん}になるために訓練を重ねてきたチェスター。とてもかしこい犬だけど、大きな音が苦手で補助犬になれず、小学5年生のガスの家族に迎え^{むか}えられました。

ガスは自閉症^{じへいしょう}で人と関わるのが苦手です。チェスターにも関心がありません。それでもチェスターは、ガスにいつも寄りそい、ガスのために何ができるか考えます。やがてその想い^{おも}は2人にしか分からない心の言葉となって伝わるようになります。

物語はチェスターの目線で語られています。相手を思い寄りそうこと、伝えようとするものの大切さに改めて気づかされる1冊です。

まじょ いちにち 魔女の一日 魔女になるための秘密



いじま とよこ
飯島 都陽子/作

やまむら こうじ
山村 浩二/絵

金の星社〔エ〕

ハリエニシダの垣根^{かきね}に囲まれた古びたわらぶき屋根の一軒家^{いっけんや}には、魔女が住んでいます。

夜明け前に森へハーブ摘み^つに行き、ハーブの仕分けと薬づくり、魔術^{まじゅつ}の勉強、そして空を飛ぶ修行など、魔女はとても忙しい一日を送ります。この本では、そんな魔女の一日について詳しく書かれています。

あなたには魔女の素質があるかどうか確かめられます。魔女のことをたくさん知れば、あなたも魔女になれるかもしれませんよ。